

お客様用

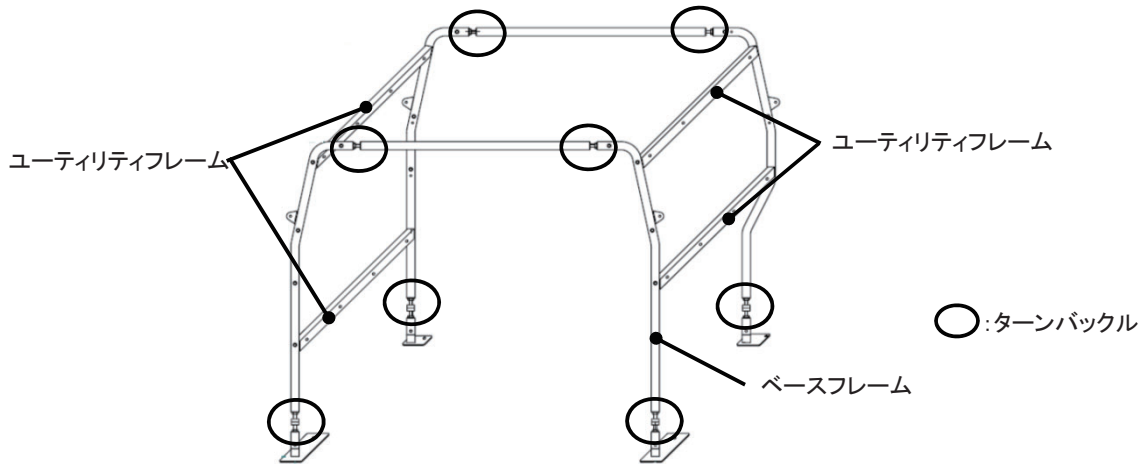
MSD56-26001(26002) (旧品番)D2511-42710 (42720)

MODELLISTA

ラゲージュエティリティーフレーム

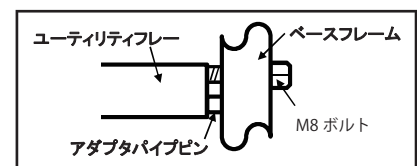
取扱書

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
 本書は、ラゲージュエティリティーフレームの取扱い要領について記載してあります。
 ご使用前に必ずこの取扱書をお読み頂き、記載された内容に従って正しくお使い下さい。
 本書は紛失しないよう車の中に保管して下さい。



取扱方法

- ユーティリティーフレームにはM8アンカーナットが4個埋め込まれおり、タイダウンフック等の取付が可能です。取付にはM8のボルトを使用してください【締付トルク:25N・m】。
- 本商品にはユーティリティーフレームが4本付属しておりますが、追加のユーティリティーフレームをご購入頂く事により増設が可能です(最大運転席側4本、助手席側5本、ユーティリティーフレーム品番:D2511-42750)
- ユーティリティーフレームの移設・増設を行う際は以下の手順で行って下さい。
 - ①ユーティリティーフレームとベースフレームジョイント部の樹脂カバーを外す。
 - ②ユーティリティーフレームを固定している六角ボルト(M8×45)を緩める。
 - ③ターンバックル部のナット(M12)を緩め、ターンバックルを回しベースフレームに遊びが出来る程度に緩める。
 - ④ユーティリティーフレーム固定の六角ボルト(M8×45)を取外し、アダプタパイプピンをベースフレームより抜き、ユーティリティーフレームを外す。
 - ⑤ユーティリティーフレームの取付は取外しと逆の順序で行って下さい。
 【締付トルク M8 六角ボルト:20N・m、M12ナット:20N・m】
 また、ユーティリティーフレームは片側最低2個以上取付けて下さい。



- ラゲージュエティリティーフレームの許容荷重は(60kg(運転席側、助手席側それぞれ最大30kg))です。

取扱い上の注意事項 (重要)

《警告》

許容荷重を超えた場合、急ブレーキなどにより積載物が移動し重大な障害を負う恐れがあります。

《注意》

フレームにぶら下がらないでください。ケガをしたりフレーム、車両を破損することがあります。

フレームに頭をぶつけないようご注意ください。

フレームの組み立て、分解は必ず2名以上で行いフレームで指を挟んだり、フレームの落下によるケガに注意して下さい。

フレーム固定ボルトやナットに緩みがないか、定期的に確認をしてください。

この度はモデリスタ ラゲージュエティリティーフレームをお買い上げ頂きありがとうございました。
 本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
 取付けの前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。
 なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種		備考
MSD56-26001	ハイエース	TRH200V.TRH21##.TRH20#V.	旧品番 D2511-42710
MSD56-26002	ハイエース ワイド	KDH211K.GDH20#V.GDH211K. スーパー GL	旧品番 D2511-42720

保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施します。

(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はモデリスタパーツカタログサイト< <https://www.modellista.co.jp> >「保証について」をご覧ください。

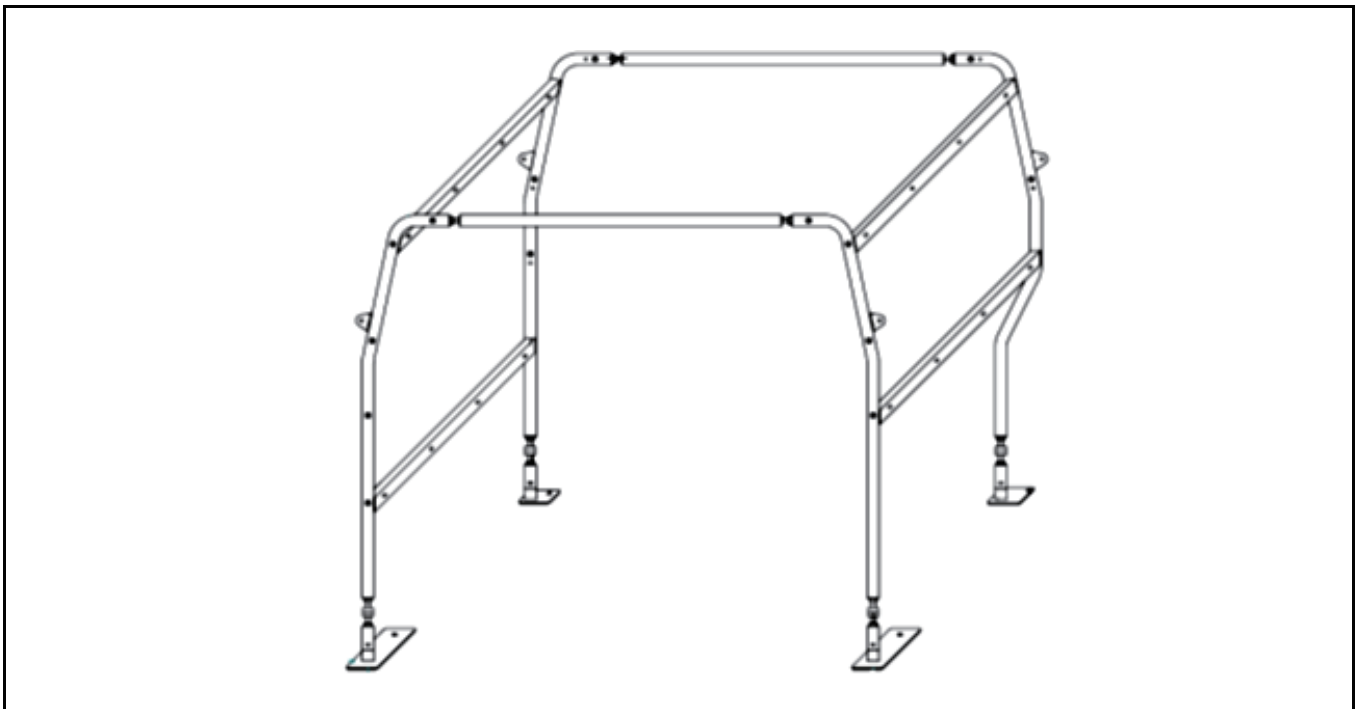
取り扱い上の注意事項

この取扱書では安全にご使用していただくため、とくにお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。



注意 . . . 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。

商品概要



取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



取扱上の注意点

《ご使用にあたって》

- 本商品の取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

《装着に当たって》

- 取付前に車両に傷が付いていないか点検してください。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行わないでください。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱が無い様に部品ごとに整理して、復元する際間違いの無い様配慮してください。
また、部品に傷を付けたりしない様、十分に取り扱いに注意して作業を行ってください。
- 本書で指示した部品以外は取り外さない様注意してください。
- ケガ・火傷等に十分注意して作業を進めてください。
- 本商品を取り付ける箇所の汚れ・ゴミ・ホコリ等をウエスで拭き取ってください。
- 車両へ本商品を取り付ける際には、必ず2名以上で作業を行ってください。
- 本商品に係わる事故等に関しましても弊社では一切の責任を負いません。
- 本商品をお客様自身による加工、改造、修理は絶対に行わないでください。
- 定期的に、本商品に不具合が無いか必ず点検してください。
もし、不具合が見られた場合は、走行することは中止し、お買い求めのトヨタ販売店に相談してください。

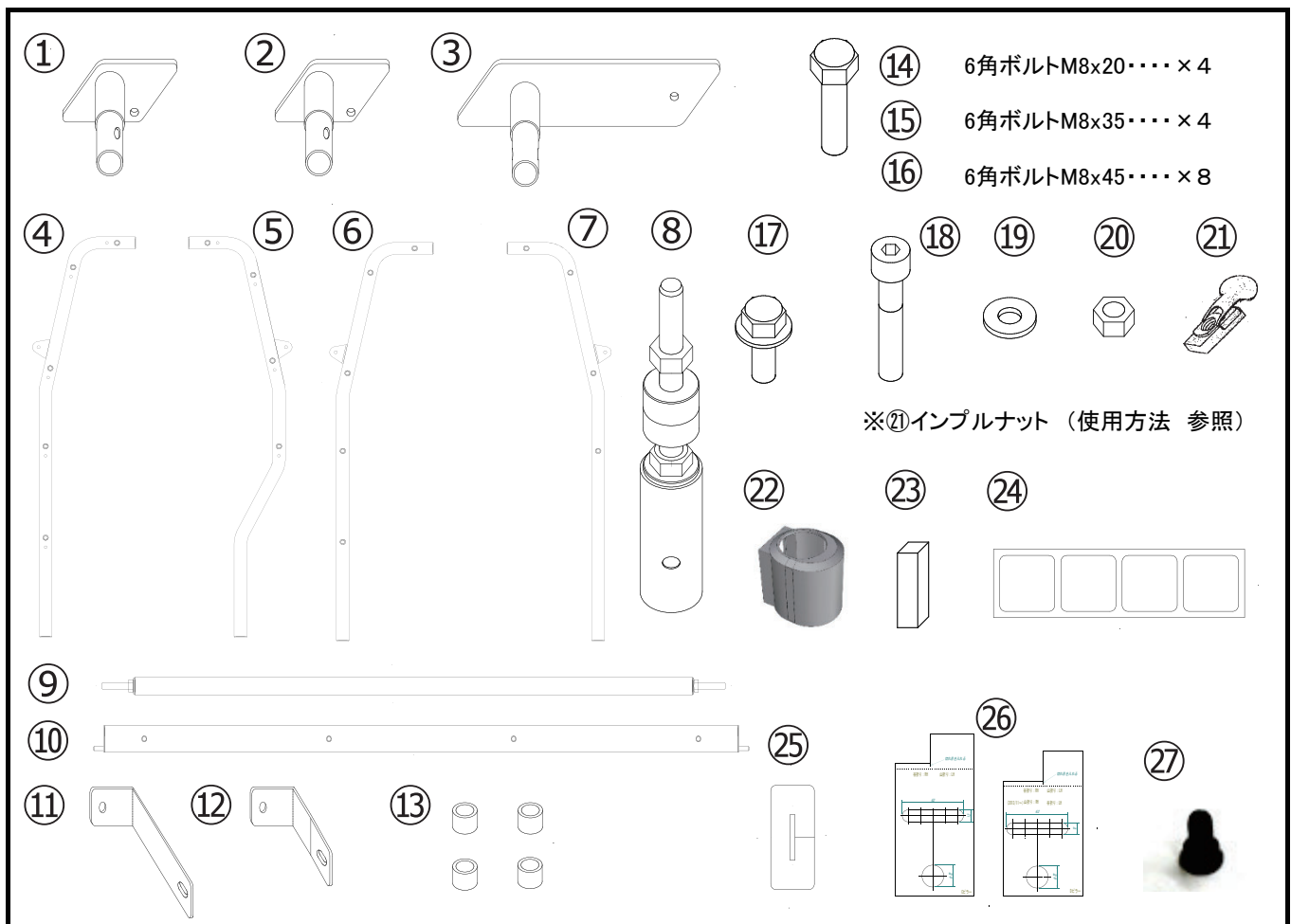
《取付完了後の点検及び注意事項》

- ラゲージユーティリティフレームが車両に確実に取り付けられているか確認・点検してください。
- 取付終了後、ユーティリティフレーム及び車両部品に傷が付いていないか確認・点検してください。

■ 構成部品

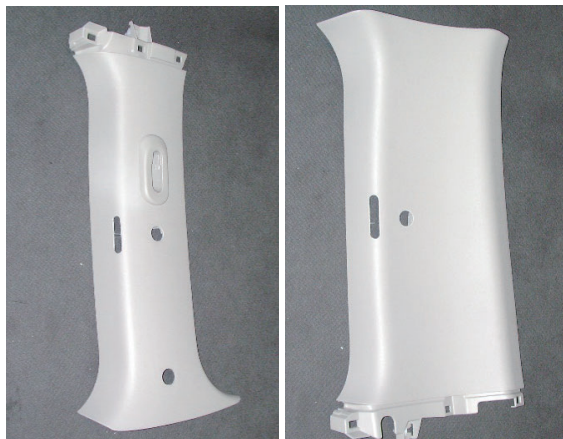
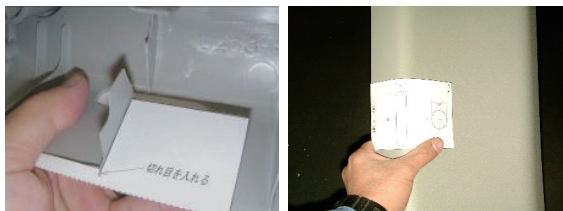
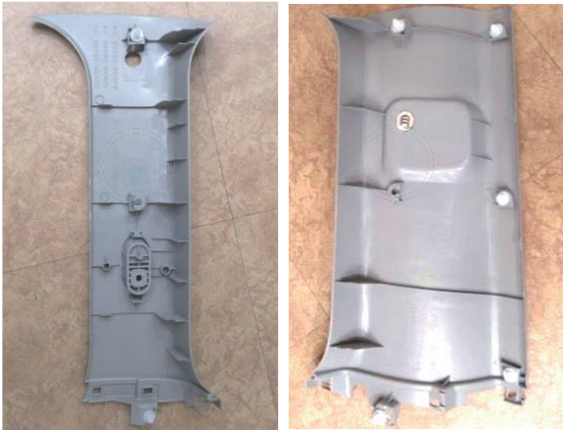
番号	品名	数量
1	ベースプレート左前	1
2	ベースプレート右前	1
3	ベースプレート後	2
4	ベースフレーム左前	1
5	ベースフレーム右前	1
6	ベースフレーム左後	1
7	ベースフレーム右後	1
8	縦ターンバックル(ロックナット込み)	4
9	横ターンバックル(ロックナット込み)	2
10	ユーティリティフレーム	4
11	ピラーステー前	2
12	ピラーステー後	2
13	ベーススペーサーカラー	4

14	六角ボルトM8x20	4
15	六角ボルトM8x35	4
16	六角ボルトM8x45	8
17	六角フランジボルトM8x20	4
18	キャップボルトM8x45	4
19	M8平ワッシャ	28
20	M8ナット	8
21	M8インプルナット	4
22	ユーティリティフレーム樹脂カバー	8
23	樹脂カバースポンジ	8
24	ピラーカバー化粧シール角	4
25	ピラーカバー化粧シールゴム	4
26	ピラーカバー加工用型紙	2
27	ボルトキャップカバー	4



※本商品が到着後、すぐに本体に破損がない事、付属品が全てそろっていることを確認してください。

取付要領



(1) Cピラーカバー・Dピラーカバー及びCピラー・Dピラーの加工

- ・車両からRH・LH、Cピラーカバー・Dピラーカバーを取り外します。

注意

取り外した部品は再利用します。紛失しないよう十分に注意してください。
取り外しはベース車サービスマニュアルを参照して作業を行ってください。

- ・ピラーカバーの加工部分（図①参照）のクリップを取り外します。

- ・付属の②⑥ピラーカバー加工用型紙を台紙から切り取ります。

- ・型紙を利用し、切り取る箇所をマジック等でケガキます。
（前加工で外したクリップ位置と同じ位置に穴が開きます）
ドリル作業で穴あけを行う場合は型紙の中心線を利用して
穴センターをカバーにケガキ、穴あけ作業を行ってください。

注意

ワイドボディの車両はDピラーカバー型紙の曲げ方向が逆になります。
型紙の表記に注意して左右を間違えないように作業して下さい。
穴をあける前に位置の確認を行ってください。

- ・リューター・ドリル・カッター等を使用し、カバーに穴を開けます。
長穴加工はケガいた穴センターにドリルで穴を開け、
その穴を結ぶように、カッター等で切り取ります。
穴加工の場所は化粧シールを張り付けるため、余分なバリは
落としてください。

注意

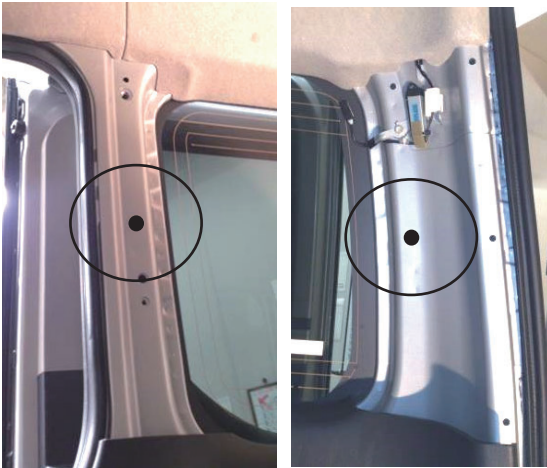
作業の際、怪我には十分注意してください。

- ・ピラーカバー裏側の不要な箇所を取り除きます。

注意

裏側リブのカットが不十分だと、ピラーステーが装着できない
事があります。裏側リブは大きめに除去して下さい。

・Cピラー・Dピラーの加工を行います。



Cピラー、Dピラークリップ穴 4箇所を 12.5mm に径を広げてください。
穴のバリをきれいに取り除き、付属部品の⑳インプルナットを差し込み
固定して下さい

使用部品

・⑳ M8 インプルナット ×4

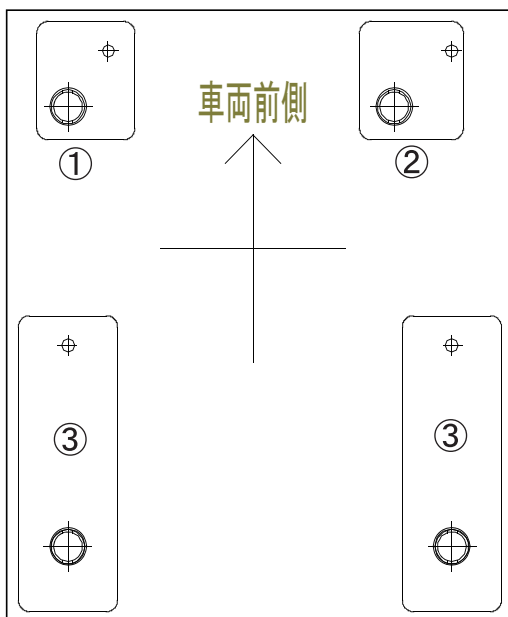
👉 アドバイス

インプルナットの取付方法は巻末の追補資料をご参照ください。
ナットの固定が不安定な場合はインプルナットのブルタブを
マスキングテープ等を使用して固定してください。

・加工したCピラーカバー、Dピラーカバーを確実に車体に取り付けます。

注意

カバー装着後？ページを参照に前後のピラーステーを仮付けし、
カバー裏側リブの干渉をチェックしてステーと干渉する箇所が
修正加工を行ってください。



(2) ベースプレートの取付け

・純正のタイダウンフックを取り外します。

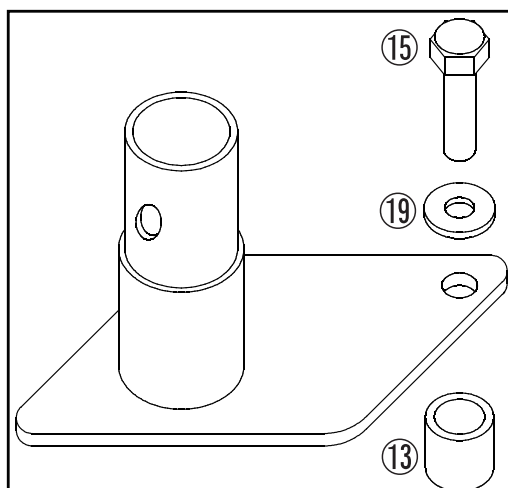
ベースプレートの位置を間違えない様に取り付けてください。

使用部品

・ ① ベースプレート左前 ×1
・ ② ベースプレート右前 ×1
・ ③ ベースプレート後側 ×2

注意

ベースプレートの位置を間違えない様に取り付けてください



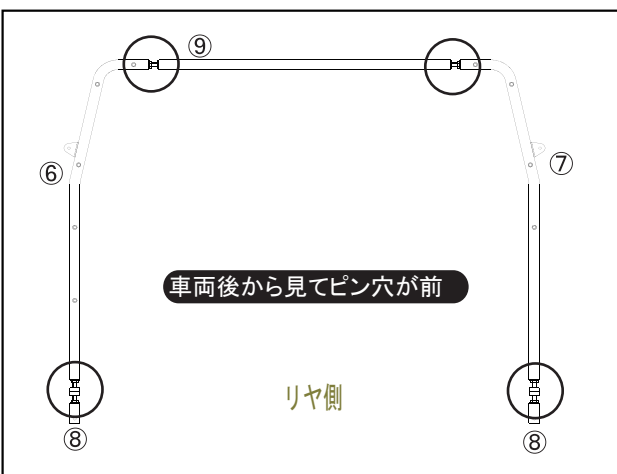
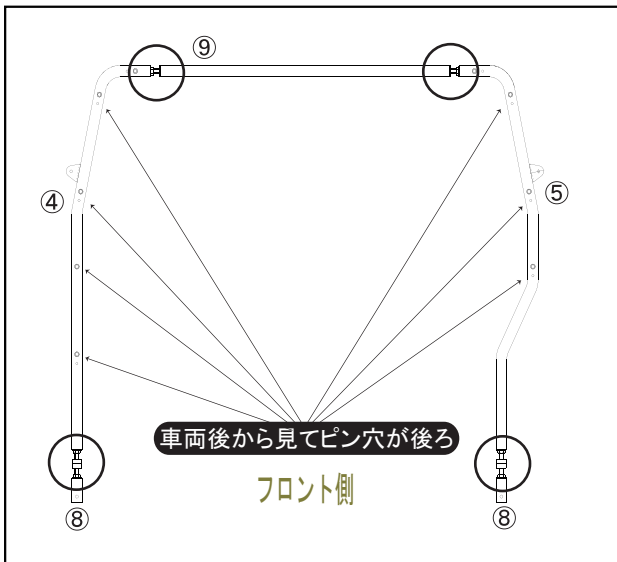
・カーペットを一部剥がしてパイプの通る穴を4箇所開けます。
・付属部品⑬ベーススペーサーカラーを床の隙間に入れて
付属部品⑮M8×35と⑲M8 平ワッシャーで仮付けします。
・ベースプレートが車体と平行になるようにボルトを本締めします

締め付けトルク ⑮ M8ボルト 20N・m

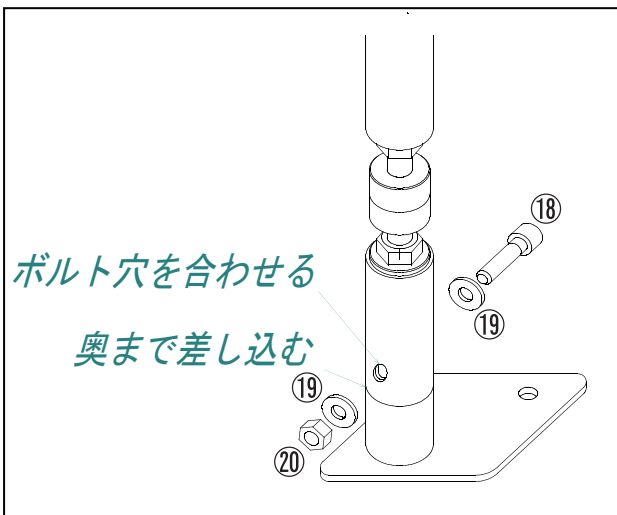
使用部品

・ ⑬ ベーススペーサーカラー ×4
・ ⑮ 六角ボルト M8×35 ×4
・ ⑲ M8 平ワッシャー ×4

ベースフレームの仮組み



※上記図は車両後方（荷台側から見た図）



(3) ベースフレームの仮組み

- ・フロント側フレームのターンバックルをベースフレームに取り付けます。
(図の○部)

使用部品

- ・ ④ ベースフレーム左前 ×1 ・ ⑧ 縦ターンバックル ×2
- ・ ⑤ ベースフレーム右前 ×1 ・ ⑨ 横ターンバックル ×1

注意

前後・左右組み合わせを間違えないように組み付けてください。
ターンバックルは奥まで締め込んでください。
ロックナットでろっくしないでください。

- ・リヤ側フレームのターンバックルをベースフレームに取り付けます。
(図の○部)

使用部品

- ・ ⑥ ベースフレーム左後 ×1 ・ ⑧ 縦ターンバックル ×2
- ・ ⑦ ベースフレーム右後 ×1 ・ ⑨ 横ターンバックル ×1

注意

前後・左右組み合わせを間違えないように組み付けてください。
ターンバックルは奥まで締め込んでください。
ロックナットでろっくしないでください。

(4) ベースフレームの組付け

- ・仮組みの終わったメインフレームを車内に持ち込み、ベースプレートに差込む。
- ・完全に奥まで差込むことが出来たら、付属品⑩キャップボルトM8×45 ⑪M8平ワッシャーを差込み⑫M8ナットにて仮止めします。
- ・前側ベースプレートのボルトは前から差し込みます。
- ・後側ベースプレートはボルトは後から差し込みます。

締付けトルク M8ボルト 15N・m

使用部品

- ・ ⑩ キャップボルト M8×45 ×4 ・ ⑫ M8ナット ×4
- ・ ⑪ M8平ワッシャー ×8

(5) ユーティリティーフレームの組み付け

- ・前後のユーティリティーフレームのアダプターピンをフレームに差込み⑬ボルトM8×45 ⑭M8平ワッシャーにて軽く締め付けてください。
- ・ユーティリティーフレームが全て仮組み出来たら、⑬ボルトを本締めして下さい。

締付けトルク M8ボルト 20N・m

使用部品

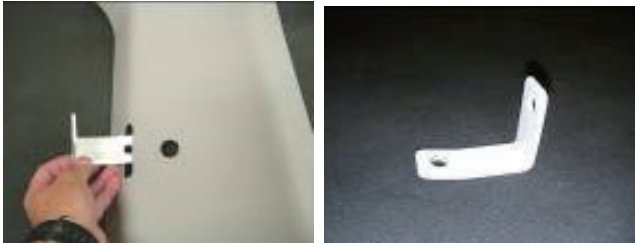
- ・ ⑬ ユーティリティーフレーム ×4
- ・ ⑬ ボルト M8×45
- ・ ⑭ M8平ワッシャー

注意

ユーティリティーフレーム本体は下側のフレームより仮組みして下さい。
上側のフレームを先に組み付けた後に組付けるフレームが組付かない場合があります。シールの添付面を車両内側に向けて取付けて下さい。
取付位置は 右側4箇所 左側5箇所です。
必ず片側に2本以上の取付けてください。



Cピラー側



Dピラー側

(6) ピラーステーの取付け

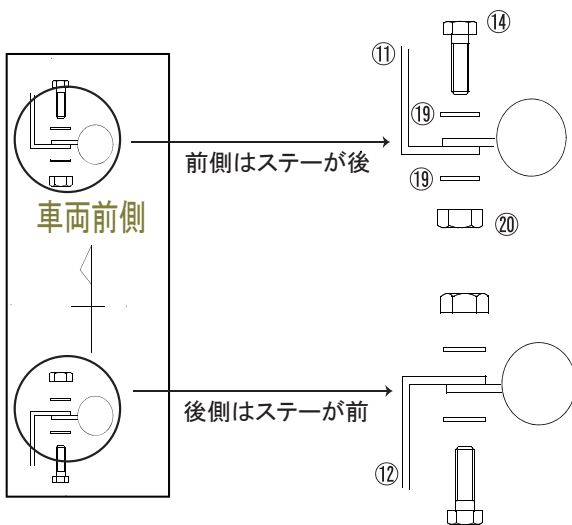
・ピラーステーをCピラーカバー、Dピラーカバーの長穴から差し込み

⑪フランジボルトM8×20でピラー部に仮付けします。

その際にステーとカバー裏側リブが干渉するようであれば、修正加工を行い、干渉を無くしてから取り付けて下さい。

使用部品

・ ⑪ ピラーステー前	× 2
・ ⑫ ピラーステー後	× 2
・ ⑭ ボルトM8×20	× 4
・ ⑰ フランジボルト M8×20	× 4
・ ⑲ M8平ワッシャー	× 8
・ ⑳ M8ナット	× 4



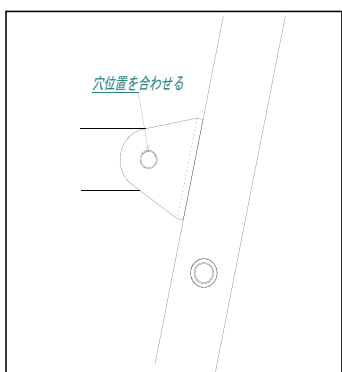
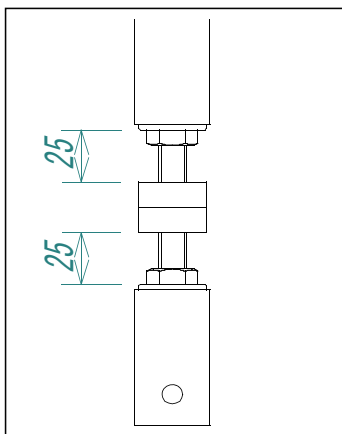
注意

ステー取り付けの際は図を参考にベースフレーム取り付け部の内側になるように取り付けて下さい。

・縦・横ターンバックルを調整しピラーステーとベースフレームブラケットの 穴位置を揃えます。

👉 アドバイス

ターンバックルの調整代を約25mmに合わせると穴位置が揃いやすくなります。調整箇所が1箇所に集中すると、フレームがねじれる恐れがあるので各ターンバックル部 均等に調整して下さい。



・穴位置を合わせたら⑭ボルトM8×20 ⑲M8平ワッシャー ⑳M8ナットで固定して下さい

締付けトルク ⑭ボルトM8×20

⑰フランジボルトM8×20 (ピラー部)

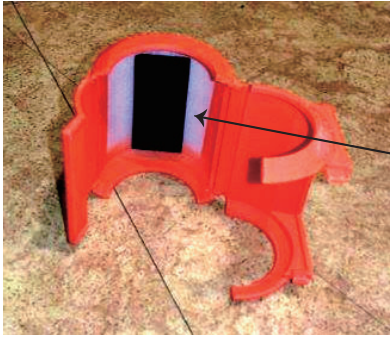
ターンバックルロックナット 20N・m

15N・m

(7) 締結箇所の確認

20N・m

・全ての締結箇所について、緩みや締め忘れがない事を確認してください



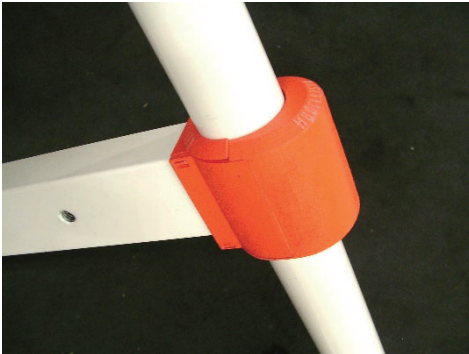
(8) ユーティリティーフレーム樹脂カバーの取付け

- ・ 左画像を参照に樹脂カバースポンジを樹脂カバーに取り付けます。

スポンジを張り付ける

- ・ ⑳ 樹脂カバースポンジ

スポンジを張り付けたらユーティリティーフレームと、ベースフレームの貼付け部に被せます。



使用部品

- ・ ㉒ ユーティリティーフレーム樹脂カバー × 8
- ・ ㉓ 樹脂カバースポンジ × 8

(9) 化粧シールの貼り付け


Cピラーカバー、Dピラーカバーのボルト取り付け用の穴に化粧シールを貼り付ける。

同じくステー取付け長穴にも化粧ゴムシールを張り付ける

- ・ 張り付ける面の汚れ、ゴミ、ほこりをウエス等で拭き取り、脱脂をして付けてください。

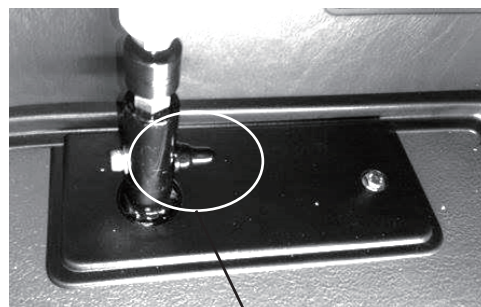
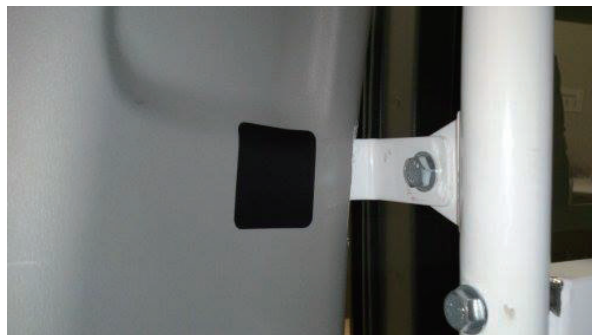
使用部品

- ・ ㉔ ピラーカバー化粧シール角 × 4
- ・ ㉕ ピラーカバー化粧シールゴム × 4

 アドバイス

ドライヤー等を使用し、熱をかけて貼り付けると面になじんで貼り付けることができます。

(火傷等には十分ご注意ください)



(10) ボルトキャップカバーの取り付け

ベースプレートとベースフレームを固定する M8 キャップボルトとナットに付属のカバーと取り付ける

使用部品

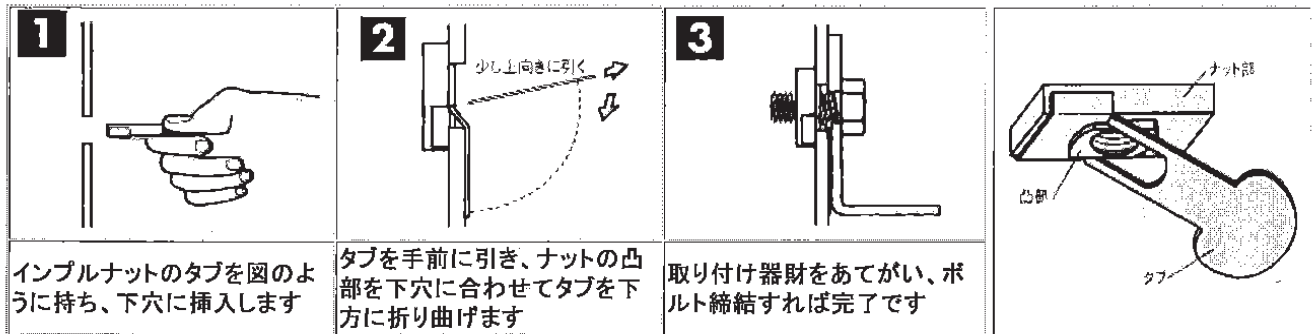
- ・ ㉗ ボトルキャップカバー × 4

㉗ ボトルキャップカバーの取り付け

【追補】

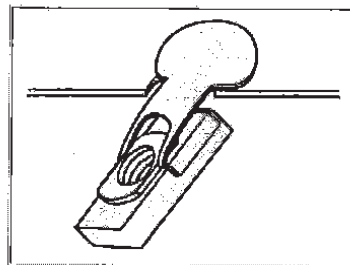
インプルナット使用方法

使用方法



⚠ 使用上の注意

- タブを取り付け器材でしっかり押さえなければ、破断トルクに達する前にナットが供回りします。
- 油分の付着や特殊な表面処理を施したボルトをご使用の場合は締結感が得にくく、過剰な締め付けによってナットまたはボルトの破損につながることもありますので、ご注意ください。
- 材質にはSUS304を採用しておりますが、使用状況や周辺の環境により錆を発生することもありますので、ご注意ください。また、危険を伴う構造体への使用はできません。
- 取り付け・取り外しが度々繰り返される用途には適しません。
- 床面など下向きの取り付け箇所では、下図のようにインプルナットの仮固定が困難な場合があります。タブを両面テープで仮固定するなどしてご対応ください。



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

モデリスタ商品窓口

TEL 050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>